



埼玉医科大学医学部 同窓会会報

第46号

平成22年1月



巻 頭 言

会長 渡 辺 雄 幸



新年あけましておめでとうございます。皆様におかれましては、ご健勝のこととお慶び申し上げます。

この年末年始、ゆっくり過されましたでしょうか。全国的に見れば減少傾向ではありますが、まだまだ新型インフルエンザの流行は続いております。昨年は、新型インフルエンザの一年でありました。空港などでの水際作戦から始まり、発熱外来、ワクチンの問題。私の診療所でも、まだ一週間に数人の患者さんが来られています。

感染症などに対する危機管理に対して、様々な問題が提起されました。地域医療を担う私達開業医が、患者さんを受け入れられるかどうか。毎日、新聞やテレビなどのマスコミの情報に耳を傾けて、地域の診療所の先生方と連携をとりながら、診療を続けていました。行政から医師会を通じての情報伝達は遅く、今後考え直さなければいけないでしょう。ただ、これからの開業医は、いかに積極的に情報を得るか、地域医療にいかに素早く対応できるか、いかに行政に情報を伝えるかなど、問題にされているとも言えるでしょう。

昨年のもう一つ大きな出来事は、民主党政権が誕生したことです。医療を取り巻く情勢はどう変わるのでしょうか。総医療費対GDP比をOECD加盟国まで引き上げる、医師数を1.5倍にすると、マニュアルに掲げられています。医療崩壊は本当に食い止められるのでしょうか。今回の診療報酬改定では、+0.19%と決まりました。10年ぶりにプラス改定となりましたが、少しはほっとしているといったところでしょうか。

さて、同窓会の現況ですが、年1回の総会、年2回の常任委員会、会報・名簿の発行、落合記念賞の学術奨励助成金、海外留学援助金、

医師国家試験対策、大学祭・東医体などの学生活動の援助、研修医の歓迎会、産業医講習会、学外的には、私立医科大学同窓会連絡会への参加などと、幅広く活動しております。また、理事長、学長をはじめ、大学側とも定期的に話し合いの場を持ち、会員相互の親睦のみならず、協力して大学の発展のために、今後とも活動を続けていく所存です。

考えてみれば、同窓会の会員の年齢も年々高くなっており、医療を取り巻く情勢はどんどん様変わりしています。私自身、自分の研修が忙しい時期、病院に勤務し研究と後輩の指導、開業して地域医療に携わってからと、医療に対する立場も変わり、見方も変わってきています。同窓会は、幅広い年齢層にまたがり、全く異なった立場の医師の集団なので、医療に対して様々な意見が期待できると思います。唯一、教育を受けた大学の利益を守るという点で共通ではあります。

会員の皆様、医療の現状に対して、何か声をあげていますか。日本医師会では、一般会員からの意見は、ほとんど上層部には届きませんし、勤務医の先生方は、意見の集約の場がありません。これからは同窓会発の意見や提言があってもいいのではないのでしょうか。とはいっても、年々会員は増加しているにもかかわらず、総会、常任委員会の出席が増えない、つまり出席率が減少している現状では、なんとも困ったものです。そんなことを考えながら、今年も一人でも多くの会員の出席を願いつつ、会の運営を試みたいと思っております。

最後になりましたが、会員の皆様のご繁栄ご健康を祈願いたしております。今後ともご支援ご協力賜りますようお願い申し上げます。

お 知 ら せ

落合記念賞研究助成金の公募について

第21回落合記念賞研究助成金を公募します。

第21回落合記念賞研究助成金（若手研究者による、医学上将来性に富む研究に対して1件100万円を上限として毎年3～4件を対象に助成）を、下記の通り公募致しますのでご希望の方は所定の申請書をご提出下さい。

第21回落合記念賞研究助成金応募要項

1) 申請資格者

埼玉医科大学医学部同窓会会員（但し、教授・准教授・医学部学生は対象から除外する。）で、平成22年4月1日現在40歳未満の者とする。

2) 研究者

個人または複数であっても構わない。協同研究者が申請者の所属と異なっても構わない。

3) 研究期間

原則として2年以内に研究成果が得られる研究であること。

4) 申請に必要な書類（4～5枚1組）

* 申請書—所定の書式用紙（3枚、7）に該当する者は4枚1組に記入のこと。

* 推薦書—所属学科長ないしは科長、またはそれらに代わる者を推薦者として、所定の書式用紙に記入のこと。

5) 申請期間

平成22年1月15日～3月末日迄の間に、上記の申請書類一式を埼玉医科大学医学部同窓会事務局に提出のこと。

6) 助成金について

助成金は最高100万円までとする。

授与式は6月の同窓会総会で行う。

助成金の交付方法その他については、受賞者に総会終了後説明する。

なお、研究継続が不可能となった場合には、直ちに同窓会会長に報告するとともに、未使用額分の助成金は同窓会に返納しなければならない。

7) その他

申請の研究と同一とみなされる研究で、既に他の助成金の交付を受けている場合、あるいは申請中の場合には、申請書（4）にその内容を明記し提出のこと。なお同一の研究題目で既に他の助成を受けている場合は、応募をご遠慮下さい。

産業医研修会開催日程のお知らせ

平成22年度（第12回）産業医研修会の開催日が決まりましたので、お知らせいたします。

開催日；平成22年10月10日（日）、10月11日（体育の日）
基礎（後期・実地）；生涯（更新・実地・専門）14単位〔予定〕

詳細につきましては、決定次第お知らせいたします。

海外留学奨励助成金の公募について

医学部同窓会では、正会員の海外留学を支援するために、助成金の公募を行っています。募集要項及び助成金申請書をご希望の方は、同窓会事務局までお問い合わせ下さい。

* 申請資格

埼玉医科大学医学部同窓会正会員で、1年以上継続して医学研究のため海外留学を予定し、申請年度までの年会費を完納している者。

* 募集期間（毎年）

前期 2月1日～7月31日

後期 8月1日～1月31日

開業記念品贈呈について

埼玉医大卒業生の皆様の開業をお祝いして、同窓会記念品（ブロンズ製古鏡文鎮）をお贈りいたしております。すでに開業（新規に限らず、会員にとって新規とみなされるものは全て対象となります。例えば、親の病院・診療所等の事業の引き継ぎ他）をなさっておられる方、また近日中に開業を予定されている方にもご連絡をいただければ、早々に発送の準備を致したく存じます。

記念品の加工処理の問題もありますので、下記要領によりご申請いただくようお願い申し上げます。

なお、開業1件のみが対象となりますが、贈呈当該年度までの会費が完納されていることが条件となりますので、ご確認の程宜しくお願い申し上げます。

〔申請内容〕

開設者氏名：

卒業年：昭・平 年

（同窓の方と結婚されている場合には、お2人の名前と卒業年を併記して下さい。）

施設名：

所在地：

電話番号：

FAX：

開業年月日：昭・平 年 月 日

備考：

上記の内容を記載の上、事務局宛ご連絡下さい。葉書、FAX等何れでも結構です。

同期会のお知らせ ～詩季の会～

第4期生の同期会を下記の日程で開催致します。

当日は、第107回日本内科学会総会の期間中で、学会会場の近くでもありますので出席しやすいものと思います。多くの方の出席を希望致します。

日時：平成22年4月10日（土曜日）午後7時から

場所：東京都千代田区丸の内3-2-1

東京會館（東京国際フォーラムから歩いて数分）

幹事：4期生常任委員：伊藤彰紀、岡田文寿、稲葉宗通

＊問い合わせは同窓会事務局 049-276-1112 にお問い合わせ致します。

—事務局から—

不審電話に **ご注意ください・・・**

- ◆ 事務局職員や同窓生と偽り、皆様の住所を調査しようとする不審電話が増えています。**事務局では電話で皆様のご住所を確認することはありません。**
また、名簿作成や会費納入についての問い合わせなどを、会員（役員）に依頼することはありません。
- ◆ 同窓会事務局では、皆様にご提供頂いている個人情報の管理につきましては、細心の注意を払っておりますが、会員名簿を利用したと思われる、悪質なセールスや各種の勧誘等を目的とした迷惑電話やメールについてのお問い合わせを頂いております。
皆様には、**会員名簿の取り扱い**につきましては、十分ご配慮頂き、**会員以外への譲渡や貸与等ご遠慮頂く様**お願いいたします。また、不要な名簿の取り扱いにつきましては、特にご配慮をお願いいたします。



会員著書紹介

◆埼玉医大、5期卒業生の由富章子さんが、エッセイストとして本を5冊も出版してまーす。
皆さん、知ってました？

学生の頃は、まっかなほっぺと小柄な様相から、かわいらしい女の子という第一印象の由富さんでしたが、最初に入部したのは、剣道部。飲み会では、私の初恋の人は、桂小五郎と豪語し、車がなければどうにもならない毛呂山で、ジェミニを乗り回し武蔵の山々は、私の庭と豪語していた、“アダルト性とヤング性？”を両方持ち合わせた、彼女でした。

卒業後は、九州大学の眼科に入局し、現在は、遺伝子工学の最先端の研究をされている夫君をもちつつ、地元である熊本県玉名で、お父様と由富医院を切り盛りしつつ、著作業ならびに地球発テレビドラマの脚本を手掛けていらっしゃるそうです。

たとえば、

口ほどにものをいう 目に効く話（中経の文庫）由富 章子 著

この本の紹介文は、「目」を見るだけで心も体もお見通し！

本書は、そんな「目」に関する“目からうろこ”のエピソードをまとめたエッセイ集。眼病の話、魅力的な目になるコツ、目にまつわる文化の変遷など、眼科医の著者ならでの視点で綴られています。

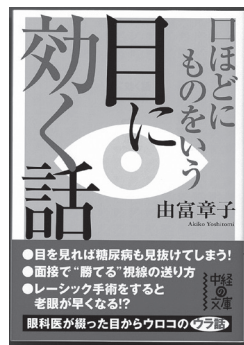
読んでみたいという方は、是非書店で以下の著書をご購入ください。

「なるほど、ヒトの顔は面白い」（日本放送出版会）

「診察室うふふ日記」（西日本新聞社）

「おもしろ医学館」（熊本日日新聞社）

5期生 鈴木 郁子



◆同期生が詩集を発刊！！

心の壁に吹く風 著者；田辺達雄

発行；日本文学館 2010年2月

田辺達雄君が、学生時代に作った詩39編を詩集として1冊の本にした。時間を共有していた学生時代に、応援団の団長をしていた田辺君が斯くにも繊細に“風”を感じていたとは驚きである。また、カバー写真は8期生の颯佐正俊君の提供によるもので、同窓生2人が作りあげた詩集ともいえる。毛呂山の地で過ごした学生時代を思い出す時、ぜひ読んで頂きたい1冊である。

4期生 稲葉 宗通

